

パネリストの経歴

【コーディネーター ^{ひぐち}樋口 ^{よしお}美雄 氏（慶応義塾大学商学部教授）】

- ・実践型地域雇用創造事業等 選抜・評価委員会 会長
- ・1952年生まれ。商学博士。一橋大学経済学研究所客員教授、米国スタンフォード大学経済政策研究所客員研究員、オハイオ州立大学経済学部客員教授等を経て現職。専門は労働経済学・計量経済学。厚生労働省労働政策審議会会長、内閣官房まち・ひと・しごと創生会議構成員などを歴任。

○ ^{とりごえ}鳥越 ^{よしみつ}良光 氏（岡山商科大学大学院 商学研究科特任教授）

- ・地域雇用開発支援ワーキングチーム 副座長
- ・1942年生まれ。商学修士。愛知学院大学大学院商学研究科博士課程修了。岡山商科大学商学部専任講師、岡山商科大学商学部教授等を経て現職。専門はマーケティング論、商品学、商業学、地域開発論、消費者政策。主な著書は農山村地域の商・工・観光振興（明文書房、1993年）、現代社会の消費とマーケティング（税務経理協会、2000年）など。岡山県事業評価監視委員会委員長、岡山県大規模小売店舗立地審査会会長などを歴任。

○ ^{いとう}伊藤 ^{みのる}実 氏（一般財団法人 農林産業研究所 理事）

- ・1948年生まれ。商学博士。労働政策研究・研修機構統括研究員等を経て、2014年4月から現職。専門は、人事管理論、産業・経営論、地域経済論。実践型地域雇用創造事業等選抜・評価委員会委員、東京商工会議所労働委員会委員、NHK ラジオ「ビジネス展望」レギュラーコメンテーター、青山学院大学大学院法学研究科講師、中央大学商学部講師、公益社団法人全国求人情報協会理事などを兼務・歴任。

○ **木村 俊昭** 氏（東京農業大学教授）

・1960年北海道生まれ。1984年小樽市入庁産業振興課長、企画政策室主幹、産業港湾部副参事（次長職）。2006年から内閣官房・内閣府企画官として、地域再生策の策定、地域再生制度の事前・事後評価、全国大学での「地域活性化システム論」講座の開講、政府広報活動のほか、地域再生に関する調査研究を担当。2009年から農林水産省大臣官房企画官として、地域の担い手の養成、地域ビジネスの創出、地域と大学との連携、農商工連携、6次産業化などを担当。現在は、東京農業大学教授、コミュニティプロデューサー、地域活性化学会理事、一般社団法人北海道活性化機構代表理事等として、大学講義や全国各地、年間120箇所以上で講演・現地アドバイスを実施中。

○ **太田 昇** 氏（岡山県真庭市長）

・1951年生まれ。京都大学法学部卒業。京都府財政課長、知事室長、総務部長、副知事等を経て、2013年4月から現職。市長就任以来、過疎・高齢化が進む真庭市において、「交流・定住」を最重点課題と位置づけた市政運営を行うとともに、広域合併ならではの多彩な地域資源を有効に活用し、循環させる地域経営に取り組み、農山村の展望を見出そうとしている。特に、地域の豊富な森林資源を活用したバイオマス先進地としての取組は、「里山資本主義の地 真庭」として全国から注目を集めている。真庭市では、2010年7月から地域雇用創造推進事業、2012年7月から実践型地域雇用創造事業に取り組んでいる。

○ **中村 薫** 氏（うるま市地域雇用創造協議会 実践支援員）

・1973年生まれ。沖縄国際大学商経学部経済学科卒業。2012年7月から現職。2002年に株式会社沖縄県物産公社（わしたショップ運営会社）に入社し、県外催事担当として、伊勢丹新宿店、阪神百貨店などの「沖縄物産展」にバイイングディレクターとして催事企画に従事し、当時新たな試みとして物産展会場内で「わしたショップ」などアンテナショップのコンビニ展開、また「石垣島ラー油」で有名な辺銀食堂の県外初出店に伴い、物産展限定メニューとして、ラー油かけごはんのメニューを考案し「食べるラー油」ブームの先駆けとなった。2010年に株式会社 OMO に入社し、銀座三越、渋谷ヒカリエ、お台場アクアシティ、西武池袋店の沖縄料理店出店の店舗立上げプロジェクトリーダーとして取り組む。かねてから地方創世に携わる仕事を志望していた事もあり、うるま市地域雇用創造協議会にて物産商品開発を担当。「津堅にんじんロール」等の開発・総合プロデュースを通じて地元事業者と連携・協働を図り、雇用創出に取り組んでいる。